

一般社団法人システム制御情報学会  
スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会  
第10回例会のご案内

「IoTを活用したものづくりの新潮流  
～産官学における取り組み事例～」

一般社団法人システム制御情報学会  
SmFA 研究分科会  
主査 貝原 俊也 (神戸大)

近年、Industrie 4.0で提唱されているように、IoT技術を活用したスマートファクトリーの実現が求められています。そこでは、ものづくりの多くのプロセスがデジタル化されることで生産が効率化され、スマートな製品がサービスと融合したビジネスモデル（モノ・コト）の変革を起こすことが期待されています。これらの実現するための共通基盤を構築するためには、グローバル時代における標準化が求められます。本例会では、IoT技術を活用したスマートファクトリー実現やものづくりにおいて、産官学における新たな取り組み事例を紹介します。会員の皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

☆ 企画：一般社団法人システム制御情報学会 スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会

☆ 日時：2018年4月27日(金) 13:30 ～ 17:00

☆ 場所：大阪大学中之島センター 5F 講義室 507  
大阪市北区中之島 4-5-53 (添付の地図をご参照ください)

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

☆ プログラム：

13:30-13:40 挨拶

13:40-14:40 講演 1

「スマートファクトリーの具現化に向けた不二越の取り組みについて」

株式会社不二越 ロボット開発部ロボット先端制御開発課 小神野 東賢様  
スマートファクトリーの実現にとってIoTを活用した生産システムの監視・分析、そして、その先にある予防保全は産業界全体で取り組んでいるテーマである。それに対し、材料・工具・ベアリングなどの機能部品から、工作機械・ロボットと多方面に事業を展開する当社ならではの取り組みについて紹介する。また、拡大を続けるロボット需要に対して、現場から聞こえてくるニーズを源泉とし、例えばユーザーフレンドリーな操作端末など、どのような方向性をもって開発し、製品の拡充を進めているかについても合わせて紹介する。

14:50-15:50 講演 2

「神戸市の中小企業向け I o T 導入支援の状況」

神戸市経済観光局経済部工業課 課長 檀特 竜王様

神戸市では、国、県、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)、民間企業等と連携し、中小企業の生産性向上を目指し他 I o T 導入支援を行っています。その進捗状況と今後の取り組みについて全国の事例も踏まえながらお話しします。

16:00-17:00 講演 3

「グローバル時代における FA の標準化動向(仮)」

神奈川工科大学 情報学部情報工学科 松田 三知子先生

- ☆ 参加資格：スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会会員  
参加ご希望の方は、2018年4月18日(水)までに、メール  
([smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp](mailto:smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp))にて、①ご所属、②お名前、③E-mail アドレス、  
④研究例会の出欠をご連絡いただきますよう、お願いいたします。

※SmFA 研究分科会に参加ご希望の方は、事前にご入会の手続きをお願いいたします。

問い合わせ先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院システム情報学研究科 貝原俊也

(事務局担当：國領，坂本)

Tel: 078-803-6250, Fax: 078-803-6391

E-mail: [smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp](mailto:smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp)

Web: <http://smfa.iscie.or.jp>